

眼科学【Stage 1】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

- (1) 一般医としての眼科知識及び技術の習得。
- (2) 視覚障害者に対する対応の仕方、心配りを学ぶ。
- (3) 医学と医療の違いを理解する。
- (4) 全身疾患と眼科疾患の関連を理解する。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

- (1) 眼科基本検査手技の理解と習得（細隙灯顕微鏡検査、眼底検査、光干渉断層計）。
- (2) 外来新患の問診。
- (3) 手術見学と助手。
- (4) 入院患者の受け持ちとレポート。
- (5) ミニレクチャー。
- (6) 豚眼を使った白内障手術実習。

3. 実習上の注意事項

- (1) 清潔な身なり。
- (2) 丁寧な言葉遣いと謙虚な態度、周囲への気配り。
- (3) 局所麻酔が多いので、手術場では静かにし、清潔、不潔に注意。
- (4) **コンタクトレンズ装用者は保存ケースを準備すること。**

4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示

1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき

外来新患の問診、視力検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査、
眼圧測定、超音波検査、眼底写真撮影、光干渉断層計撮影

2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される

網膜光凝固、各種手術、観血的外来処置（麦粒腫切開など）

【スケジュール】（第1週目）

曜日	担 当 教 員	午 前	午 後
月	武田 横山 中武 中野 糸谷 船津 大塚真 大塚貴 佐藤 石部	オリエンテーション	検査実習・病棟回診、 患者担当
火		レクチャー・ 手術見学	病棟
水		外来実習	レクチャー 豚眼手術実習
木		手術見学	レクチャー・病棟
金		外来実習	レクチャー・病棟

（第2週目）

曜日	担 当 教 員	午 前	午 後
月	武田 横山 中武 中野 糸谷 船津 大塚真 大塚貴 佐藤 石部	外来・視覚障害実習	病棟回診・ 卒試・国試対策
火		手術見学	レクチャー・病棟
水		外来実習	レクチャー (豚眼手術実習)
木		手術見学	病棟
金		総括・レポート発表	自習

※ 集合時間・・・9：00
 集合場所・・・医局
 連絡伝達は PHS を使用